

よい豚のもとをたどればよい種豚

国産純粋種豚改良協議会だより



生後 5 日齢生存産子数の
ことをLP5値といいます

第 1 号 2017. 12. 20 発行

第二回同一基準遺伝的能力評価 出ました。

データを提出して頂き、評価結果をお返しできる皆様には同封をさせていただきます。御案内文書を御一読の上、是非ご確認下さい。

～種豚交流活用事業報告～ 美脚、できました!!

昨年、家畜改良センターがアイルランドより導入したランドレース(雄)の精液配布を、当協議会会員優先で行って頂きました。精液採取をした個体の脚はお世辞にも理想の脚とは・・・でした。しかし DG などの育種価は良いものを持っており、会員数名がこれを購入しましたが、そのうちのひとり、山田ブリーディングファームよりこの度「脚、改良しました!!」と報告がありました。

山田ブリーディングファームでは産子の精液配布は相談に応じて対応してくれるとの回答を頂いております。この件についての詳細は事務局まで御連絡下さい。(まだ、種畜検査受検前です。配布可能になるまで少々お待ち下さい。)



しっかり踏み
込み、きれいな
脚だよ

豚肉の脂肪交雑基準を作成!! 来年 1 月より判定開始

独立行政法人 家畜改良センターと公益社団法人 日本食肉格付協会 共同開発

平成 29 年 11 月 20 日、当協会会員でもある独立行政法人家畜改良センターは、公益社団法人日本食肉格付協会と共同で、新たに豚肉の脂肪交雑基準(ポークマーブリングスタンダード P・M・S)を作成したことを発表しました。これまでわが国では豚肉のロース断面の脂肪交雑程度を客観的に評価する基準がありませんでした。しかし、筋肉内脂肪が多い豚肉を取り扱う関係者などから、脂肪交雑の程度を評価してほしいと要望が寄せられたこと、また農水省の家畜改良増殖目標で、デュロック種については、差別化やブランド化に資するものとして、ロース芯筋内脂肪の高い(筋肉内脂肪おおむね 6%)系統の作出・利用を図ることを踏まえて作成されました。わが国は霜降り牛肉などの食文化があり、既に霜降りを売りにした多数のブランド豚肉が出ています。しかし、その統一的な判定基準はなく今回の新基準作成に期待の声も出ています。

なお、この新基準についての詳しいお問い合わせは公益社団法人日本食肉格付協会(電話:03-3257-0220)までよろしくお願いいたします。

国産純粋種豚改良協議会の現在の会員数は、生産者会員が 23 名、団体及び試験研究機関会員が当協会含め 6 名です。オブザーバー会員は 17 名(祝☆沖縄県オブザーバー参加決定)となっております。正会員への変更手続き、お待ちしております!!



事務局からのお知らせ

「国産純粋種豚改良協議会」は
平成 28 年 3 月 31 日、オールジャパンでの種豚
改良を目指して発足しました。
只今、会員絶賛募集中です!!

★国産純粋種豚改良協議会認定の銘柄豚認定、やります!!

国産純粋種豚改良協議会の会員の生産している種豚をつかった豚肉に対し、国産純粋種豚改良協議会が認定する銘柄豚認定を実施します。このための検討委員会を立ち上げることになりました。是非、検討委員会に委員として参加したいという会員の方は事務局まで御連絡下さい。また、この銘柄豚の認定基準などの御意見もお待ちしています。別ご案内を御参照下さい。

★会員・オブザーバーの紹介コーナー設置

国産純粋種豚改良協議会のメンバー紹介を協議会通信にて行います。別紙自己紹介シートにご記入の上、平成 30 年 1 月 31 日(水)までに事務局までお送り下さい。

★引き続き・・・国産純粋種豚改良協議会 呼称案募集中

国産純粋種豚改良協議会の活動が世界から注目される日も遠くありません!!そのための英称や英称に基づく呼称をつけたいと思います。只今、会員及びオブザーバーの皆様からの案を大募集中です。協議会がますます元気になるようなネーミングをお待ちしています。(応募先は事務局まで。)

また、協議会のロゴマークも募集中です。よろしくお願いいたします。

会員証についてですが今年度は A4 サイズのラミネート加工のものをお送りすることになりました。会費ご入金を頂いた方より順次作成の上発送させていただきます。

★平成 29 年度 種豚導入補助事業 ご案内

事務局である一般社団法人 日本養豚協会では平成 29 年度、2 事業の種豚導入補助事業の事業実施主体をやっております。国産純粋種豚の能力底上げが根底の目標になった 2 本の事業ですが、要件などがそれぞれ違います。すでに会員及びオブザーバーの方で事業参加されて、積極的に改良のための導入を行っている方もおられます。せっかくの補助事業です。協議会の目標達成の為にも是非、有効活用しましょう。(お問い合わせは事務局の湯浅まで。)

★協議会内部での種豚交流について

改良のスピードアップのための、ひとつの指標となる遺伝的能力評価精度を向上を図るためには、協議会員間での血縁構築が重要となってきます。是非、会員間で種豚交流を実施しましょう。御連絡いただければ会員にお知らせいたしますので事務局までお願いします。

★会員、絶賛募集中!!

より多くの種豚生産者に参加していただくことで、国産純粋種豚改良協議会の活動が盛り上がり、かつ、データがたくさん集まり、改良のスピードアップも狙えます。是非、入会をよろしくお願いいたします。協議会についてのお問い合わせもお待ちしています。

★産肉検定について

産肉形質改良のための素材となるデータ測定についても、積極的に実施をお願いしたいところですが測定機器が無いなどのお悩みについて、協議会一丸となって取り組んで行きたいと思えます。是非、事務局へお問い合わせ下さい。全体で対策を検討したいと思えます。

★国産純粋種豚改良協議会だより について

普段なかなか集まることのできない、会員及びオブザーバーの交流の場としても是非ご活用ください。掲載希望記事や掲載希望コーナーなどの御提案をお待ちしています。事務局までどんどんお寄せ下さい。また、改良に関する質問なども受け付けております。

(例:会員及びオブザーバーの紹介コーナー、会員及びオブザーバーに関するトピックコーナーなど)

国産純粋種豚改良協議会 事務局 一般社団法人 日本養豚協会 担当:小磯・湯浅・神長

〒1510053 東京都渋谷区代々木 2-27-15 高栄ビル 2 階

電話:03-3370-5473 FAX:03-3370-7937 E-Mail:n.yuasa@pig-pins.com